

草处 基 (くさどころ もとい)

2011 年度 COE 研究員

連絡先 motoi@ier.hit-u.ac.jp

専攻分野：農業経済学，開発経済学

研究テーマ：戦間期日本の農家経済・農村制度にかんする計量経済学的研究

博士学位請求論文題目：不確実性下の生産技術とリスク回避的農家の最適生産行動
—トルコ共和国アダナ県の小麦生産を事例として—

学歴

2002 年 3 月 京都大学農学部卒業

2004 年 3 月 京都大学大学院農学研究科修士課程（生物資源経済学専攻）修了
修士（農学）

2004 年 4 月 京都大学大学院農学研究科博士後期課程（生物資源経済学専攻）進学

2011 年 1 月 同課程修了 博士（農学）

職歴

2009 年 4 月～2009 年 9 月 大阪学院大学 非常勤講師（農業経済論を担当）

2009 年 10 月～2010 年 3 月 大阪学院大学 非常勤講師（経済入門を担当）

2010 年 10 月～2011 年 3 月 大阪学院大学 非常勤講師（経済入門を担当）

2011 年 1 月～2011 年 2 月 京都大学時間雇用教職員 農学研究科・技術補佐員

研究業績

・論文

草处基 (2009) 「1920 から 30 年代の日本における農家のリスク選好—戦前期農家経済調査の個票を利用して—」『日本農業経済学会論文集 2009 年度』, pp. 51-58. [査読有り]

Kusadokoro, Motoi (2010), “Risk Aversion and Optimal Input Utilization under State Contingent Technology,” *Japanese Journal of Rural Economics*, Vol. 12, pp. 1-13. [査読有り]

草处基 (2010) 「戦前期繭価格の変動についての計量経済学的分析—価格変動の地域間格差に着目して—」『農林業問題研究』, 第 46 巻第 1 号, pp. 45-50. [査読有り]

草处基 (2010) 「気候変動による天候リスクの変化が半乾燥地域の小麦生産に与える影響—トルコ共和国アダナ県を事例として—」『農林業問題研究』, 第 46 巻, 第 2 号, pp. 165-176. [査読有り]

Kusadokoro, Motoi (2010), “Weather Risk and Fertilizer Use under State Contingent Technology: Theory and Evidence from Wheat Farming in Adana Province, Turkey,”

Studies in Regional Science, Vol. 40, No. 2, pp. 373-396. [査読有り]

・学会報告

草処基「トルコ、アダナ県の灌漑地域における作物選択と土地所有、土地貸借市場」2005年度地域農林経済学会大会（於三重大学），2005年10月。[事前審査無し]

Kusadokoro, Motoi, Yoshihito Senda, and Yasuji Tamaki. "The Economic Evaluation of the Multiple Functions of Mikawa Bay by Choice-based Conjoint Analysis." 5th World Fisheries Congress, in Pacifico Yokohama, Oct. 2008. [事前審査無し]

草処基・千田良仁・玉置泰司「コンジョイント分析による湾の多面的機能の経済的評価：三河湾と広島湾を事例として」2009年度春季日本水産学会大会（於東京海洋大学），2009年3月。[事前審査無し]

草処基「1920 から 30 年代の日本における農家のリスク選好：戦前期農家経済調査の個票を利用して」2009年度日本農業経済学会大会（於筑波大学），2009年3月。[事前審査有り]

草処基「戦前期繭価格の変動についての計量経済学的分析：価格変動の地域間格差に着目して」2009年度地域農林経済学会大会（於高崎経済大学），2009年10月。[事前審査無し]

草処基「小作地返還の威嚇と技術選択，労働投入：戦前期養蚕農家を事例として」2010年度日本農業経済学会大会（於京都大学），2010年3月。[事前審査有り]

藤栄剛・草処基・仙田徹志「戦前期における農業経営の効率性とその推移」2010年度地域農林経済学会大会（於京都大学），2010年10月。[事前審査無し]

・その他（報告書，解説等）

Kusadokoro, Motoi (2005), "The Effects of Credit Rationing by the Formal Credit Institution to Farm Behavior -Using the Farm Survey Data Collected in Adana Region in Turkey in 2003-," *The First Interim Report of the Socio-economic Sub-group of ICCAP*, Research Institute for Humanity and Nature, pp. 49-60.

Kusadokoro, Motoi (2006), "Understanding of Cropping System in Adana Province - From the Perspective of Farmers' Characteristics-," *The Advance Report of ICCAP (ICCAP Publication 9)*, Research Institute for Humanity and Nature, pp. 128-133.

Kusadokoro, Motoi and Takeshi Maru (2007), "The Features of Agriculture in Adana Prefecture - From the Result of Farm Survey-," *The Final Report of ICCAP (ICCAP Publication 10)*, Research Institute for Humanity and Nature, pp. 257-264.

草処基（2009）「第一期農家経済調査から第三期農家経済調査までの変遷と経済学的視点からの再検討」『統計資料シリーズ』一橋大学経済研究所社会科学統計情報研究センター，第63巻，pp. 45-82.

- 仙田徹志・草処基（2009）「戦前期農家経済調査の標本連続性と農家経済構造—第3期から第4期における改正の影響と帝国農会経営調査との比較に注目して—」『統計資料シリーズ』一橋大学経済研究所社会科学統計情報研究センター, 第63巻, pp. 83-121.
- 浅見淳之編（2011）『戦前期の農家簿記と農林省農家経済調査—京大式簿記を中心に—』一橋大学経済研究所社会科学統計情報センター『統計資料シリーズ』第67巻.
（pp.59-65 及び pp.207-210 を担当）
- 草処基（2011）「ブックガイド：南石晃明著『農業におけるリスクと情報のマネジメント』」『農業と経済』, 第77巻, 第8号, pp. 98.

照会先

北村行伸（一橋大学経済研究所教授） 佐藤正広（一橋大学経済研究所教授）